

2024年版

1等米多収穫栽培に、この農薬が効く!!

(株)ネイグル新潟

減収、等級ダウンの要因となる病気と害虫対策

※数字○印
適合病害虫

☆秋・春のワラすき込みをきちんとおこない、浮きワラを防止する。

☆株間は疎植にし、稲を栄養失調にさせないこともポイント。

初期害虫の食害は上位葉の生成を阻害し、稲の初期生育を遅滞させる。

中・後期害虫の食害は止葉～穂が傷むため、収量減に直結する。

1 紋枯病



・夏場の**高温**が続く年に多発。
・倒伏危険度が増すだけでなく、**収量品質の低下**にもつながる。
●新之助・多収穫品種等分ゲンが多い品種は発病しやすい

2 いもち病



・**低温多雨**条件で多発。
・十分な登熟が期待出来なくなり、**大幅な減収**となる。

●わたぼうし・コシヒカリ・新之助は特に発病しやすい。

3 初期害虫

左: イネミズゾウムシ
右: イネドロオウムシ



4 中・後期害虫

左: ニカメイチュウ
右: イナゴ類



箱処理

トリプルキック 箱粒剤

【トルプロカルブ・シメコナゾール・シアントラニプロロール】

エバーゴルド 箱粒剤

【イミダクロプリド・イソチアニル・クロラントラニプロロール・ベンフルフェン】

スタウトアレスモンガレス 箱粒剤

【イソチアニル・オキサズルフィル・インピルキサム】

レシードプラス箱粒剤

【ジクロベンチアゾクス・テトラニプロロール】

プリンス粒剤

【フィプロニル】

本田処理

出穂14日前

モンガリット 粒剤

【シメコナゾール】

出穂14～10日前

サンブラス粒剤

【トルプロカルブ】

初発～出穂期

ブラシン剤

【フェリムゾン・フサライド】

初発～

トライトラムフロアブル

【フェプロキン・エチプロール】

出穂10日前～

フジワンラップ粒剤

【エチプロール・イソプロチオラン】

イチオシ剤の登録内容は こちらから

トリプルキック箱粒剤



レシードプラス箱粒剤



トライトラムフロアブル



3大難防除病害の特徴と対策

5 ごま葉枯病



・幼穂形成期頃、ケイ酸などが欠乏した地力低下田で多発する。
・籾に病斑を形成すると稔実が阻害、穂枯れとなる。

6 稲こうじ病



・穂ばらみ期に降雨多&気温が低い年に発生。
・多発生すると乳白米などが増加。
・窒素過多の場合にも発生が多い。

7 イネ墨黒穂病



・黒色の舌状突起物を生じ、籾の表面が黒く汚れる。前年にほ場に飛散した胞子が開花中に付着し、感染。
●特にわたぼうしは感受性高く、15%の減収事例がある。

農業による改善

土作りによる改善
(秋施用)

☆☆ ◎秋の穂がキレイになる体系! ☆☆☆

- ・トリプルキック箱粒剤 50g/箱
⇒稲こうじ病多発田におすすめ!
- +
- ・サンブラス粒剤 3kg/10a
- +
- ・モンガリット粒剤 3～4kg/10a (出穂2～3週間前の施用)

◎病害菌の密度を減らしましょう!

- ・土いきいき 30kg/10a
 - ・腐植無双 極 15～30kg/10a
- 上記いずれかを散布しましょう!

近年多発する2種のカメムシ特徴と対策

カメムシ発生予察～防除の裏技!

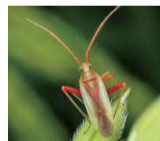
1. 畦畔除草時に**エクシードフロアブル**を混用して発生密度を下げる
2. ほ場内の残りノビエ・ホタルイを**ゲバード剤**で叩く!
3. 出穂期頃、**中畔など日中日陰になる場所**でカメムシを発見したら即防除!

アカヒゲホソミドリカスミカメ



・ホタルイなどの雑草で増殖。
・登熟初期の頂部の開口部から玄米を吸い、**割れ籾で斑点米の被害増加**。体長約5mm
・**早生品種の加害割合が多い傾向**。

8 アカスジカスミカメ



・ノビエや、ホタルイなどの穂で増殖し、これらの雑草を放置すると発生密度が高く被害増に。体長約5mm
・**中生品種の加害割合が多い傾向**。

おすすめカメムシ防除剤

※多発の場合は3回目の散布を検討してください。

アカヒゲ対策
早生品種～
コシヒカリ

キラップ粒剤

(出穂10日前)

エクシード

粉剤DL・フロアブル

(出穂期)

アカスジ対策
コシヒカリ～
晩成品種

エクシード

粉剤DL・フロアブル

(出穂期)

アルバリン粒剤

(出穂期～穂揃期)

◎エクシード粉剤は発生密度低下させるために額縁散布も有効です!

ドローン対応殺菌・殺虫剤

用途	商品名	希釈倍率	備考(適用)
いもち病 害虫対策	トライトラムフロアブル	8倍	・希釈液800ml/10a ・収穫14日前、2回まで。
紋枯病	バリダシンエアー		・希釈液800ml/10a ・収穫14日前。
殺虫剤	エクシードフロアブル	16倍	・希釈液800ml/10a ・収穫7日前、3回まで。
	エミリアフロアブル	8倍	・希釈液800ml/10a ・収穫7日前、2回まで。
	キラップフロアブル		・希釈液800ml/10a ・収穫14日前、2回まで。

登熟<5%以上>アップ!!

【HS-2プロ】

☆腐植酸(フミン酸・フルボ酸高濃度水溶液)
8倍液/10aを農薬との混合散布可

